

令和6年度 モニタリング評価実施による改善のための対応方針

施設名称： 大阪府立青少年海洋センター本館及びヨットハウス	指定管理者： ナンプフードサービス㈱、NPO法人NAC	指定期間： 令和6年4月1日～令和11年3月31日	施設所管課： 福祉部 子ども家庭局 子ども青少年課
----------------------------------	--------------------------------	------------------------------	------------------------------

評価項目	評価基準	評価委員の指摘・提言等	改善のための対応方針	次年度以降の事業改革等への反映内容
Ⅰ. 提案の履行状況に関する項目				
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	○年間目標来館者数の達成に向けた戦略的な取組みが適切に実施されているか	施設の利用に関して、学校などの団体利用のイメージが非常に強く家族などの個人利用ができない、というような印象を持たれている可能性がある。 どのようにして個人利用者数を伸ばしていくのが課題。 学校などの団体利用だけではなく家庭でも施設を利用できるというイメージに転換していくような広報等を実施していくことが重要である。	本施設の設置目的である青少年の健全育成に基づき、青少年に対する広報啓発をこれまでと同様に実施していくことを要請する。 さらにこれに加え、本施設が学校などの団体だけでなく家庭などの個人利用も可能であることを施設のホームページ上でより積極的に発信していくとともに、今後もさらに SNS などを活用して個人利用の促進に向けた広報周知を実施していくことを要請する。	個人利用などの促進をはかるため、SNS の活用のほか、旅行会社や大阪府観光局メディアとも連携し、積極的な広報を行う。
(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果	○利用者サービスの向上を図るための取組みが適切に実施されているか	個人利用を促進するためには、予約手続きをよりデジタル化するなどして手続きをスムーズにする手立てが必要である。	個人利用時の予約方法についてデジタルツールなどを用いて簡便化することにより、個人利用の促進を図ることを要請する。	団体も含め、二次元コードを用いた予約制度を検討する。
(8) 管理運営経費縮減方策	○管理運営費の縮減方策が提案どおり実施されているか	収入の面の改善に関してキャンセルの取扱いについても改善して対応していく必要がある。 公の施設に求められる公正さ・公平さの点も考慮すると、個別の事業者では対応できない困難さもあるので、指定管理者は大阪府と相談しながら検討していくことが望ましいと考える。 なお、指定管理者側での事務作業での対応も必要かと思うが、それだけでは指定管理者の事務負担が増すばかりなので、検討するに際しては、全体としての枠組みを見直すという点での検討が必要だと考える。	キャンセルの対応については、キャンセル料の導入も含めて、府と連携し対応を検討していくことを求める。	大阪府と連携し、キャンセルポリシーを作成し、キャンセル料の導入に向けた検討を行う。
Ⅲ. 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目				
(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	○事業収支計画の達成に向けた戦略的な取組みが適切に実施されているか	収支の実態をより把握できるよう、資料「収支実績明細」については費目を詳細に記載していただきたい。	資料「収支実績明細」については、本施設の収支状況がより把握できるよう、記載する費目を整理したうえで資料を更新することを要請する。	「収支実績明細」については、その他の項目の費目を整理し、より詳細に記載する。